

52 週 第四、第五、第六の祈願

質問 104. 第四の祈願では、私たちは何を祈り求めるのですか。

答え I 「我らの日用の糧を今日も与えたまえ」という第四の祈願で私たちが祈る事は、神の値なしにくださる賜物のうちから、この世の良き物らを豊かに受け、それによって神の祝福を楽しむことができるように祈り求めます。

質問 105. 第五の祈願では、私たちは何を祈り求めるのですか。

答え I 「我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ」という第五の祈願で私たちが祈る事は、キリストの恵みによって神が、私たちのすべての罪を代価なしに赦してくださることを祈り求めます。私たちがそのように祈願できる勇気を得られるのは、その方の恵みによって、私たちが他の人々をも真に赦すことができるからです。

質問 106. 第六の祈願では、私たちは何を祈り求めるのですか。

答え I 「我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ」という第六の祈願で私たちが祈る事は、神が私たちを守ってくださり、私たちが罪の誘惑に陥らないようにと願い、試みられる時も私たちを支えて、助け出してくださるよう祈り求めるのです。

質問 107. 主の祈りの結びは、私たちに教えるのは、何ですか。

答え I 「国とちからと栄えとは、限りなく、なんじのものなればなり、アーメン」という主の祈りの結びが教えている事は、私たちが祈る時、ただ神から勇気を与えられ、国と力と栄とは神に帰して賛美することを教えます。また、私たちの祈りを聞いてくださるという願いと、確信のしるしとして私たちは「アーメン」というのです。

解説

我ら

第四の祈願では「我ら」という複数が使用されています。この祈願は、一人でする祈願ではなく共同の必要のために、相互の責任感を持ち、同情する心をもって祈ることを意味します。

日用の糧

日用の糧は、私たちがこの地上にいる間、一時的に必要とするあらゆる祝福です。私たちが必要とすることに対する知識には限界があります。それだから私たちは、真に必要なことに対する神の知識が必要です(ヤコブ 4:15、I テモテ 4:4-5)、私たちの必要には、あらゆる霊的な恵みが含まれます(エペソ 6:11-12)。私たちの必要は絶対的で持続的です。それで毎日祈り求めることです。神の約束は、持続的で豊かなものです。神の恵みがなければ、私たちは生活を持続することができず、恵みの中で成長することもできず、誘惑に対して抵抗することもできず、

奉仕をすることもできません。しかし恵みがあるなら、私たちは、どんなことでもできるのです（詩 119:13、ヨハネ 15:5）。

赦しに対する祈願

第五の祈願と第四の祈願とは連結されています。私たちは罪の力の下にいて、汚染されている状態にいるから、日用の糧のために祈ることと同時に、毎日の赦しが必要です（詩 130:3、マタイ 3:11、ロマ 6:16、ヘブル 12:8）。また、私たちは罪人として、神の御前に無価値な者だから毎日の赦しが必要です（イザヤ 6:5）。私たちは、罪のゆえに資格のない者だから、必ず、キリストの恵みを証ししなければならず（Ⅱコリント 5:19）、恵みによって他の人に影響を及ぼさなければならぬのです（Ⅰテモテ 1:15）。

他の人を赦す

私たちが互いに赦さなければならない理由は、これが神の国の法だからです（マタイ 5:44、6:14）。そして私たちは、キリストのうちに結合されていて、教会の会員の間には差がないからです（Ⅰコリント 12:25、27）。私たちは継続的に他の人を攻撃し、また他の人から攻撃を受けます。しかしキリストは、私たちの返済できないほどの借金を赦してくださり、互いに愛しなさいと命じます（マタイ 18:27、33-35）。

この祈りを持って私たちが他の人を赦してあげたのが、私たちが神から赦される根拠になるということを意味していません。他の人を赦してあげられるのは、恵みの証拠であり効果です。神の赦しは常に完全です。しかし私たちの赦しはいつも不完全で、ためらって、部分的です。したがって神が私たちを赦してくださったなら、私たちは必ず、他の人を赦そうとしなければなりません（Ⅰヨハ

ネ 1:9-10、3:14)。

誘惑からの救い

第六の祈願も第五の祈願と連結されています。私たちは続けて誘惑を受けます。それで罪の誘惑から救い出されるために祈ることです(マタイ 26:41)。私たちは毎日誘惑を受ける時、私たちの弱さを悟って、失敗して罪を犯さないように、祈ることです(詩 39:10-13、ルカ 22:40)。

罪と誘惑は、この世と悪魔と肉体から受けます。誘惑の力が強いから、私たちは、神に、誘惑から守ってくださるよう祈るのです。この祈願に含まれていることは、私たちが受ける誘惑も、神の調整なさる下にあって、私たちが誘惑する者は、結局は滅びるということです(黙 20:2)。

主の祈りの結び

主の祈りの結びは、このすべての祈りを聞かれ、答えられる方は、ただ神のみということです。私たちには、祈りに答えられる根拠が、決してないことを確実にすることです。すべての能力は神にあって(マタイ 28:18)、その方の栄光のため目的があるのです(ロマ 9:23)。

それで私たちは、子供のように続けて神を賛美し、神に慈悲を求め、私たちが行く巡礼の道から失望することなく、神の国の進展のために祈るのです。また、キリストが私たちに永遠に治めてくださることを祈るのです。そして私たちの祈りを神が聞いてくださることを切に望むことです(エレミヤ 11:5)。